



バースで世界遺産に登録されるほどの美しい町並みを象徴する建築が「Royal Crescent」である



18世紀ジョージアン様式の重厚な雰囲気漂う華麗なロビーラウンジ



ファイアープレースを中心に簡素ながら気品あふれるライブラリー



筆者 小原 康裕

ホテルジャーナリスト
慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年 Munich Re 入社。85年築地原健樹代表取締役。2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役 CEO。JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。

www.jhrca.com/worldhotel

現在、筆者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。多くの美しい写真と興味深いコメントで、世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。

ザ・ロイヤル クレセント ホテル&スパ The Royal Crescent Hotel & Spa

www.jhrca.com/worldhotel?cat42

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテリエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

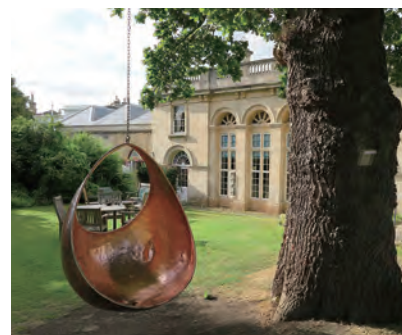
※本連載は毎月2・4週号掲載



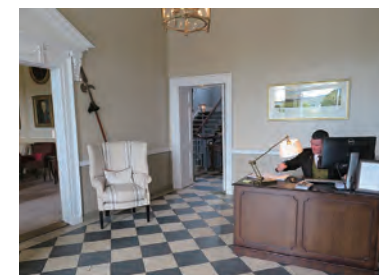
イオニア式の壮麗な列柱に飾られた半楕円形の建物が独自のオーラを醸し、その形に抱かれるように芝生と青空が広がる。ロイヤル クレセントは日本語で「三日月宮殿」と訳され、その規模と



スパ施設「The Spa & Bath House」内のプール脇には五右衛門風呂を思わせる木製の丸浴槽がある



スパ施設棟前のガーデンにある印象的なブランコ



コンシェルジュデスクがあるだけの簡素なエントランスホール



正面エントランスから芝生ガーデンの向こうにバースの街並みが望める

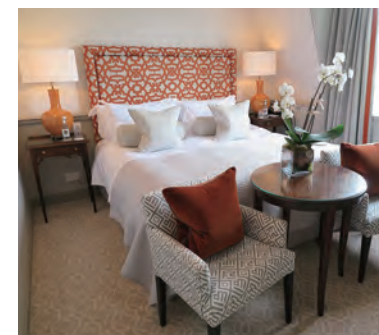


洗練された雰囲気の中でフレンチが楽しめるメインダイニング「Dower House Restaurant」

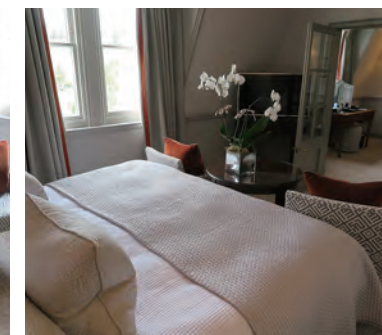


草花が美しい中庭の向こうに、レストランとバーが入る別棟「ダウアーハウス」がある

独創性から「世界で最も美しい集合住宅の一つ」と言われている。その三日月宮殿の中央に「Royal Crescent Hotel & Spa」の正面エントランスが控えている



「Classic Suite」のベッドルーム。最上階から中庭が眺められる約45㎡のスイート



ベッドルームからリビングルーム方向

古代ローマ人がイギリス遠征の際発見した温泉がそのまま町の名前、バース「Bath」となった。ドイツのバーデン・バーデン「Baden-Baden」と同様に温泉という語源、歴史を持つ。バースで世界遺産に登録されるほどの美しい町並みを象徴する建築が、「Royal Crescent」という集合住宅である。イオニア式の壮麗な列柱に飾られた半楕円形の建物が独自のオーラを醸し、その形に抱かれるように芝生と青空が広がる。ロイヤル クレセントは日本語で「三日月宮殿」と訳され、その規模と独創性から「世界で最も美しい集合住宅の一つ」と言われている。その三日月宮殿の中央に「Royal Crescent Hotel & Spa」の正面エントランスが控えめに付いている。

バースは18世紀になるとロンドンの貴族や富裕な階層の保養地として大規模に再開発され、ジョージアン様式の建造物が数多く残っている。ロイヤル クレセントはその代表的建物であり、地上3階、地下1階建ての構成である。レジデンス住戸数は30あり、向かって右からNo.1が始まり、左端のNo.30で終わる。建物は現在も住民が暮らしているので中には入れないが、東端のNo.1のレジデンスは建設当時のインテリアを復元した博物館として一般公開されている。「Royal Crescent Hotel & Spa」はNo.15-16をホテルとして使用する極めて珍しい構造を持ち、現在は Relais & Chateaux 加盟の人気ホテルである。

ロイヤル クレセントは建築家ジョン・ウッド父子が8年の歳月をかけ、1775年に長さ180mの三日月宮を完成させた。ホテルは14のスイートを含め全45室の瀟洒な館で、1987年に開業している。筆者にアサインされた部屋は「Classic Suite」で、最上階から中庭が眺められる約45㎡のスイートだ。草花が美しい中庭の向こうに別棟のダウアーハウスがあり、ファインダイニング「Dower House Restaurant」とバー「The Montagu」が入っている。かつて馬舎であった棟は、「The Spa & Bath House」のスパ施設となり、館内プール脇には五右衛門風呂を思わせる木製の丸浴槽があり日本の温泉を彷彿させるレイアウトだ。

ロイヤル クレセントは1987年、「バース市街」の名称で、古代ローマ浴場などと共に世界文化遺産に登録されている。また、途絶えていた温泉施設は、2006年にテルマエ・バース・スパ「Thermae Bath Spa」としてバース中心部にオープンした。古代ローマに思いをはせながら、世界遺産の歴史のホテルに宿泊するという、バースで稀有な体験を楽しむのも一興であろう。

世界のリーディングホテルから厳選
ホテルジャーナリスト
小原康裕 渾身の写真集

絶賛発売中

A4変型 フルカラー 128ページ
3,000円(本体価格)

www.obtapub.co.jp/worldhotel/

